

金融機関が 環境社会配慮に果たす役割と 重要性

2009年11月6日
上智大学地球環境学研究科
藤井良広

Trade-off から Trade-inへ

- Ecoの分離の時代 「環境」を無視した経済重視の時代・・・18Cからの産業革命
- Ecoの対立の時代 公害としての環境被害の顕在化・・・20Cの公害の時代
- Ecoの融合の時代へ 環境社会影響に配慮した経済発展 (Sustainability)・・・21C以降

「Ecoの融合」に金融が果たす役割

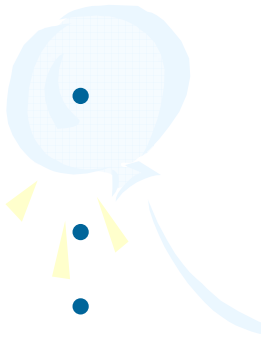

- 誰が事業 (Economy) の価値を評価するか
- 誰が事業を現実化するか (Finance)
- 誰が環境 (Ecology) の価値を評価するか
- 誰が環境と経済への資源配分を評価するか

環境金融の今日的背景

- 金融が「機能」として環境に向き合う経緯
- 1980年米スーパーファンド(CERCLA)法制定
- 1984年 SPW社事件
- EPAは同社へ融資していたフリート・ファクターズ・コープに汚染除去費用40万ドルを請求訴訟 (環境リスク 直接リスク)
- 1990年代初め FRB, FDICが相次いで環境債
- 務評価を監督下の銀行・金融機関に指示 (保有不動産の環境リスク 間接リスク)

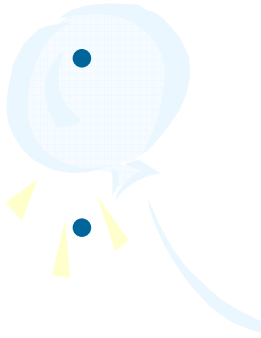
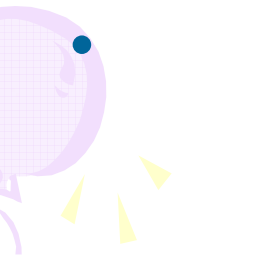


グローバル時代での環境金融

- 環境影響の拡大 越境汚染、地球温暖化問題
 - 参加のギャップ 国を超え、NPO(住民)、企業の役割増大
 - グローバル金融市場の成立 環境社会配慮(適正資金配分)のグローバル基準化
 - 「金融ステークホルダー」の機能増大
 - ステークホルダーとしての金融
 - 金融にとってのステークホルダー
- 
- 



グローバル金融・市場の課題

- 短期的利益の追求
 - グローバルバブルの形成
 - 環境リスクの金融的評価手法の未開発
 - CSR、Sustainability評価の組み込み不足
- 
- 



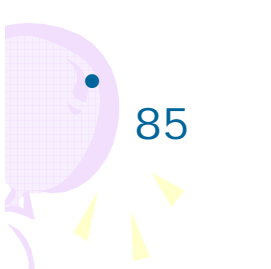
Collevocchio Declaration

- 2003年1月27日
- イタリアのコレベッキオで世界から102の
- 環境NGOが結集
- 金融機関に対して、6つの宣言
- Commitment to Sustainability
- Commitment to 'Do No Harm'
- Commitment to Responsibility
- Commitment to Accountability
- Commitment to Transparency
- Commitment to Sustainable Markets and Governance



ターゲットの転換—ECAからFIsへ

2003年6月 シティなど6国際金融機関による「エクエーター原則」採択の宣言 9つの原則

- 対象プロジェクトを3つにカテゴリー分類
 - カテゴリーA - 重大な負の社会影響または環境影響を及ぼす可能性があり、その影響が、多様、回復不能、または前例のないプロジェクト。
 - カテゴリーB - 限定的な負の社会影響または環境影響を及ぼす可能性があり、その影響は環境側面の数が少なく、概してその立地に限定される。多くの場合は回復可能で、緩和策で容易に対処可能なプロジェクト。
 - カテゴリーC - 社会影響または環境影響が、最小か全くない案件。
 - 採択行は67行 世界の国際プロジェクトファイナンス案件の85%以上をカバー
- 

発展する自主原則

2008年2月 「カーボン原則」

- シティ、JPモルガンチェース、モルガンスタンレーの米銀3行の発表
- 米国内における出力200メガワット超の石炭焼き発電所の新設、及び能力拡張プロジェクトに対するファイナンス強化審査プロセス(Enhanced Environmental Diligence Process)

2008年12月 「クライメット原則」

- HSBC、クレディ・アグリコル、スタンダード・チャータード、スイス・リ、ミュニッヒ・リの5社
- 金融機関の経営全般にわたって気候変動問題に対処するための指針を示す行動原則

自主規制の限界と適正規制の導入へ

- コレベッキオ宣言：「金融機関はCSRの行動に基づくベストプラクティスを反映した持続可能性へのコミットを深めるべきである。そのためには自主的な手段だけでは不十分で、金融セクター自らの持続可能性を高めるためにも、規制を支援しなければならない」
- 適正な規制が「環境」の価値を市場で価値付けし、Ecoの融合へ金融資源を配分する



金融の本来の役割とは

- 
- Financeの役割
 - Ecoの融合



上智大学・藤井良広